

LLと電子出版

Today's Panellist

鈴木嘉平 (すずきかへい)

高橋征義 (たかはしまさよし)

瀧澤昭広 (たきざわあきひろ)

森田尚 (もりたひさし)

And more...

Taizo Nishio

ITmedia Enterprise

UNIX USER

Editor

makeplex

鈴木嘉平（すずきかへい）

株式会社アスキー・メディアワークス

25年以上にわたってコンピュータ関連書籍・雑誌の企画・編集に携わる
PCWコミュニケーションズ「月刊パソコンワールド」編集長
翔泳社「月刊プログラマーズページ」副編集長
アスキー「BSD magazine」編集長
現アスキーハイエンド書籍編集部編集長

最近作った本
「エキスパートPythonプログラミング」「リファクタリングRuby」
今作っている本
「メタプログラミングRuby」

8年前アスキーのRuby本を売らんがためにLLカンファレンスをスタート
でも売れているのはオライリーの本だ！

高橋征義 (たかはしまさよし)

株式会社達人出版会、日本Rubyの会

著書

『たのしいRuby』

『Rubyレシピブック』

『Railsレシピブック』

監訳書

『Rubyベストプラクティス』etc

6月に電子出版専門の(株)達人出版会を設立
現在いくつか準備中で、できれば8月くらいから発売を始めたい

Rubyは1997年ごろから利用
2004年に日本Rubyの会を設立、現在まで同会会長
日本Ruby会議の実行委員長
今年のRubyKaigilは8月27～29日に開催で、ただいまチケット絶賛発売中！

達人出版会について

- 今年6月に設立(株式会社、社員1名)
- 事業内容:電子書籍の制作と販売
- 自分でコンテンツを用意して売る
 - 制作(出版社)+流通(取次)+店舗(書店)
 - 著者だけは社外の方にお願ひする
- しばらくはIT系技術書籍に特化
- 目標:面白い技術系コンテンツを増やす
- 新しい技術をいち早く読めるように
- ニッチでも可(むしろ歓迎)
- 自由に使える(DRM Free/Social DRM only)
- とても読者目線(良くも悪くも)

出版システム (DocPub)

IT系開発者にフレンドリーな執筆支援環境

- 原稿の入稿・更新履歴管理はgit (gitosis)
- 制作の進捗管理はredmine
- 原稿のフォーマットとEPUB/PDF変換はReVIEW (青木峰郎氏作)
 - redmineプラグインとして追加

普通の書店サイトのような販売システム

- DRMは購入者名をデータに書き込み
- paypalで決済 (予定)
- サイン会機能 (仕様・実装絶賛募集中)

瀧澤昭広 (たきざわあきひろ)

(株)オライリー・ジャパン

(株)国書刊行会で倉庫業務、営業など

(株)翔泳社で雑誌、書籍の編集

(株)オライリー・ジャパンでWebコンテンツと電子書籍の企画・運営に携わる

翔泳社「VisualBasicマガジン」副編集長

「XML Magazine」編集長

現オライリー・ジャパンWebコンテンツマネジャー

1999年くらいからのPythonユーザーだが、スキルは人様にはお知らせできない程度

Pythonユーザー会設立当初、MLでモンティ・パイソン関連の話題に反応することと、飲み会の幹事などを担当

森田尚（もいたひさし）

株式会社オーム社開発部 / IdeoType.org

1972年東京生まれ

出版社で編集者としてコンピュータ関係の書籍を企画・編集する傍ら、余暇にはオープンソースソフトウェアの開発に勤む

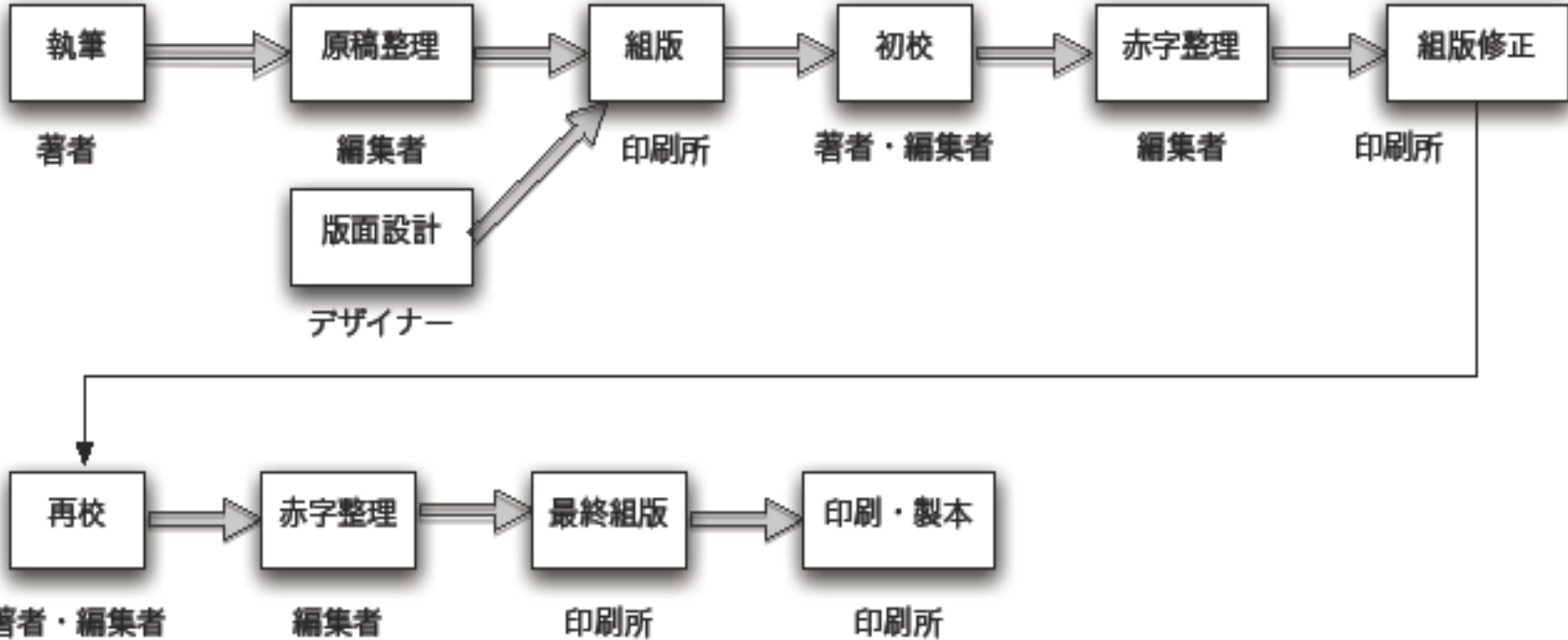
『**ハッカーと画家**』『プログラミングRuby 1.9』などを企画編集
テキスト比較ツールDocDiffや出版支援ツールIdeoTypeを開発・公開

IPA平成19年度第II期未踏ソフトウェア創造事業にて、天才プログラマー／スーパークリエイターに認定

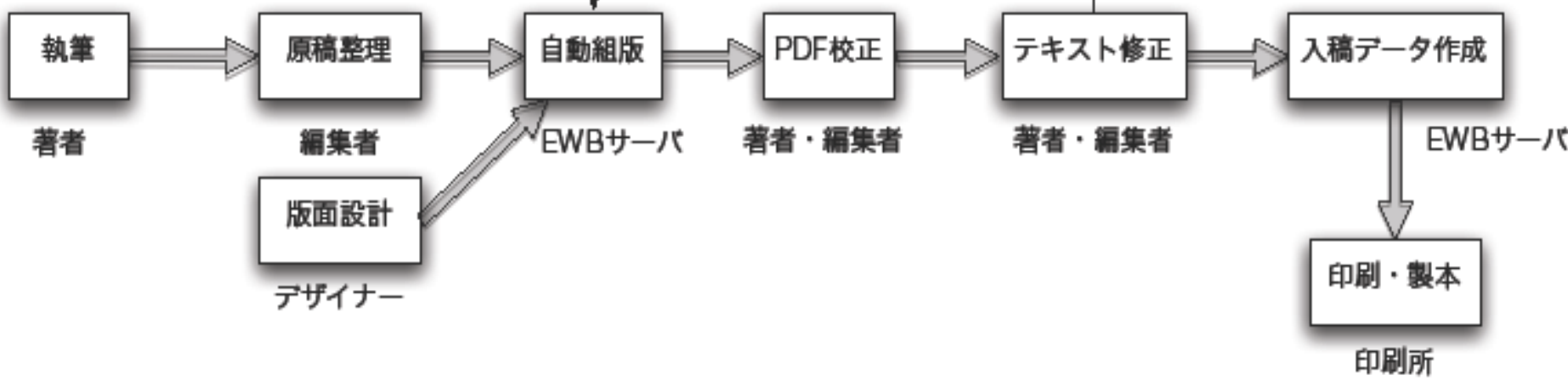
Agenda

ワークフロー
コストとビジネス(モデル)
フォーマット

従来のワークフロー（活版・写植）



EWBのワークフロー（DTP）



EWB (Editor's Work Bench) の特徴

- 大量の文書を高速で処理することが可能なバッチ方式の採用
- シンプルで覚えやすいトリガ
- 強力なマクロ機能
- TeXを利用した高品質な組版
- スタイルの変更で多彩な版型に対応
- 面付けまで一括処理
- 高度な目次、索引処理

驚くなかれ、本がある！

『VMware Playerですぐに使える日本語TeX&EWB』 ソシム

オープンソースで公開中 (ただしバージョンが古い)

<http://ascii.asciimw.jp/ascii/EWB/gaiyo/index.html>

現在、EPUB出力可能にするため改良中

2007年度II期末踏ソフトウェア創造事業

高品質な書籍を簡単に作るための出版支援ソフトウェアの実用化

担当PM: 美馬義亮 開発者: 森田尚

IdeoType: A Book Compiler

開発の動機: 出版の編集制作プロセスを改善したい

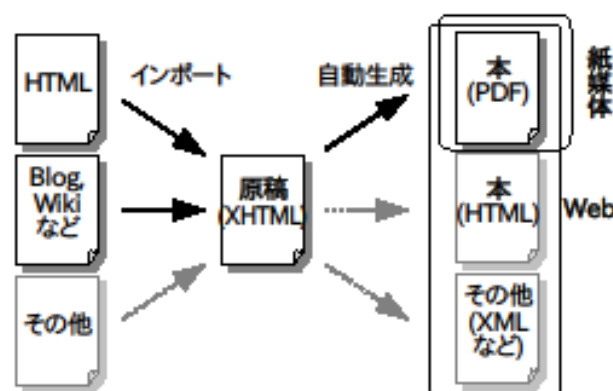
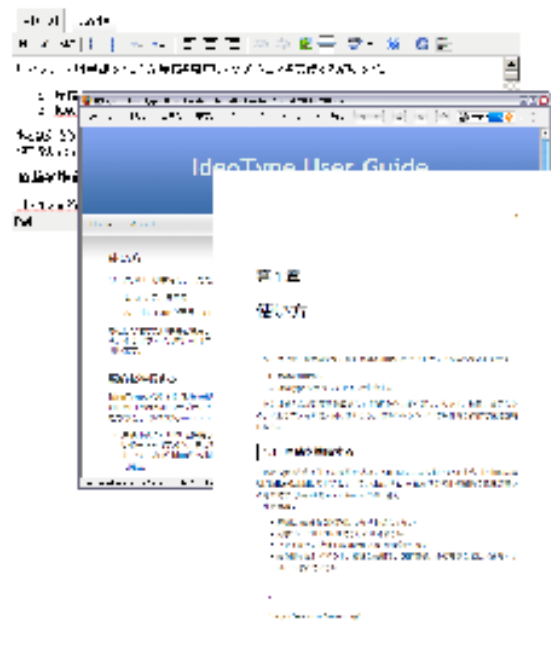
良い本を作るには、最終的な仕上がりを確認しながら、何度も繰り返し書き直すのが一番。しかし従来の商業出版の編集制作プロセスではそれが難しい。

- Mac DTPソフトは扱いやすいが、手で操作するので、何度もやり直せない
- LaTeXやXMLベースの組版ソフトは自動処理できるが、扱いが難しい

プロセスを改善するには、扱いやすさと自動処理機能を併せ持ったソフトウェアが必要。

IdeoTypeの主な特長

- 原稿(XHTML)から本(PDF)を自動生成する
 - 早い時期から完成品を見つつ、何度も書き直せる
 - 「いつでもすぐに」「紙でもWebでも」出版できる
- 普及している既存の知識や道具を生かしやすい
 - HTMLの基本的な知識があれば使える
 - BlogやWikiで書いたHTML文書を流用できる
- オープンソースソフトウェアとして自由に利用できる
 - <http://ideotype.sourceforge.net>



海外出版社の動向

Pragmatic Bookshelf

<http://pragprog.com/>

Packt Publishing

<http://www.packtpub.com/>

Manning

<http://www.manning.com/>

PDF + ePUB + Mobiというセットが一つの形式に

海外出版社の動向 (その2)

Pearson Education

<http://www.pearsoned.co.uk/>

InformIT (Addison-Wesley、Pearsonのグループ企業)

<http://www.informit.com/>

Wiley

<http://as.wiley.com>

Apress

<http://apress.com/ebook/catalog>

O'Reilly (英語圏)

O'Reilly Media

<http://oreilly.com/ebooks/>

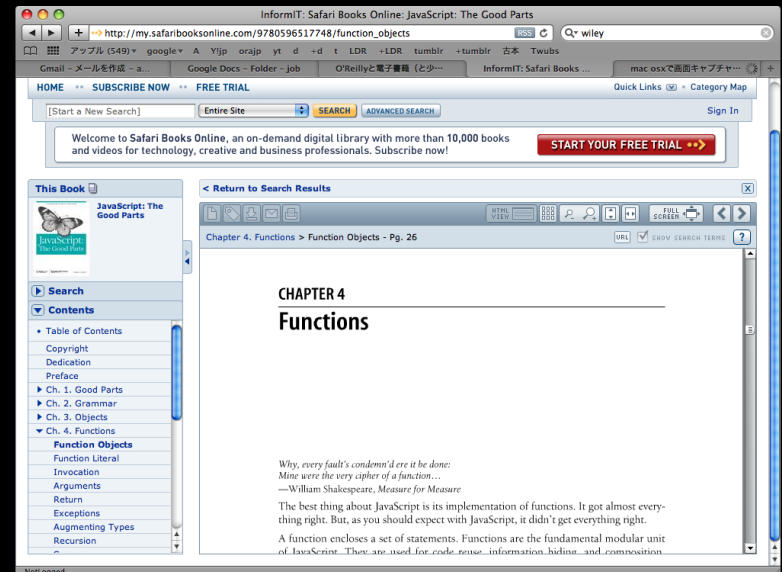
Safari Books Online:

<http://my.safaribooksonline.com/>

<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/safari/index.htm>

O'Reilly TOC

<http://toc.oreilly.com/>



O'Reilly Japanの現状

Ebook Store (2008/12～)

- 約150タイトルを販売中(販売中書籍の半分程度)
- 今のところPDF形式のみ



Docbook

Docbook

<http://www.oasis-open.org/specs/index.php#docbook>

<http://sourceforge.net/projects/docbook/>

Docbook2odf

<http://open.comsultia.com/docbook2odf/>

epubtools(docbook2epub)

<http://code.google.com/p/epub-tools/>

threepress consulting

<http://blog.threepress.org/>

O'Reillyでも...

<http://oreilly.com/oreilly/author/ch02.html#tools>

書籍のコスト構造

紙の出版の場合

※ビジネス書7000部初版の場合のコスト

- ・著者印税：10%（技術書の場合は8%以下）
- ・流通コスト：35%（出版社によって15%～40%もの差がある）
- ・制作コスト：10%
- ・印刷／製本：20%

コスト合計：75%
出版社利益率：25%

電子書籍の場合

- ・著者印税：10%～30%
- ・流通コスト：Apple 30%、Amazon 65%（Amazonの条件を受け入れれば30%）
- ・制作コスト：10%
- ・印刷／製本：0%

コスト合計：50%（印税据え置き、流通コスト30%の場合）
出版社利益率：50%